

市役所等公共施設整備 ワークショップ通信

01



平成30年3月11日(日)13:30~16:30 【参加者:24人】

《プログラム》

- 13:30 あいさつ
- 13:40 レクチャー1
「本市の市役所整備へ向けたこれまでの取組について」
- 14:00 レクチャー2
「公共施設のあり方と市役所の位置付け」
- 14:30 市役所等の施設見学
- 15:00 グループワーク
- 16:20 講評・次回のご案内

市役所の建替えに向けて、市民にとって、今後の市役所はどのようなもので、どうあるべきかという総論的なことから、設計に向けての仕様書などに取り入れていくためのご意見ご提案等を話し合うための市民ワークショップが始まりました。(全5回)

第1回目には、24の方が集まり、みなさん熱心に意見交換されていました。

【長久手市総務部次長兼財政課長 浦川さんよりあいさつ】

長久手市は、今は人口増加していますが、今後20年後30年後には減少していくことになります、先を見据えた今後の市役所のあるべきすがたを市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。また、ファシリテーターには、昨年の公共施設のあり方検討市民ワーキングの際にもお世話になりました、名古屋大学大学院恒川准教授にお願ひしています。



【市役所整備へ向けたこれまでの取組について】

市の財政課担当者から、公共施設の状況の話から、市役所整備に向けてのこれまでの検討経過や必要性、市が現在考えている内容についてのお話がありました。



長久手市の公共施設の現状

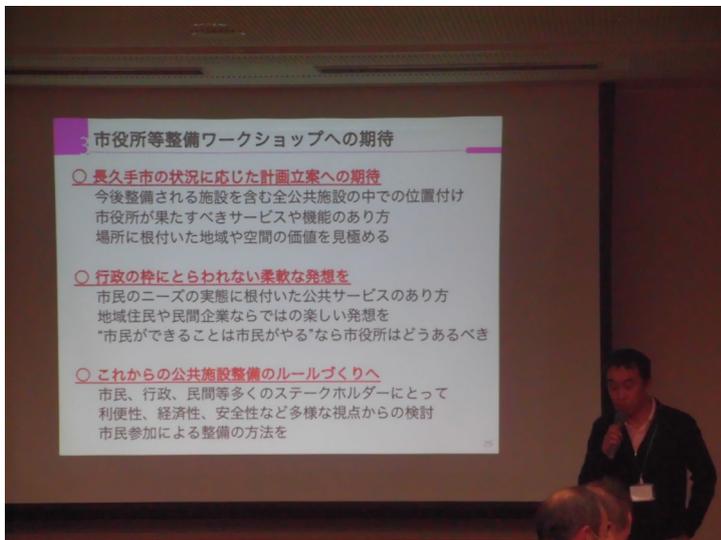
施設名	竣工年度	築年数	備考
市役所本庁舎	昭和42年	50年	H15年度耐震改修済
長久手小学校	昭和44年	48年	
市役所西庁舎	昭和49年	43年	H20年度耐震改修済
長久手中学校	昭和49年	43年	H28～30年度大規模改修中
西小学校	昭和51年	41年	H32～34年度大規模改修予定

市役所は、市内の公共施設の中で、一番古い建物となっており、築50年が経過しています。そのため、老朽化も進んでおり、設備の修繕費用が増大しています。市役所は、耐震補強は実施済みですが、地震発生後に庁舎機能を維持するためには、非構造部材(天井、壁、窓ガラス等)の耐震補強を行うことが必要になるという課題もあります。そのような現状があり、市役所の整備に関する検討を行った結果、整備規模としては総務省基準による算出結果及び事例規模を勘案して、庁舎の執務スペースとしては10,000㎡を想定しています。位置については、用地取得が少なくてすむ現在の市役所周辺地域を考えています。

市役所は、市内の公共施設の中で、一番古い建物となっており、築50年が経過しています。そのため、老朽化も進んでおり、設備の修繕費用が増大しています。市役所は、耐震補強は実施済みですが、地震発生後に庁舎機能を維持

【公共施設のあり方と市役所の位置付けについて】

恒川先生から、全国的な公共施設の急速な老朽化、人口減少と少子高齢化、厳しい財政状況など公共施設を取り巻く環境の説明がありました。本市は、愛知県内の自治体ではもっとも古い施設の比率が低いことや、公園、大学、大型商業施設といった社会資本の充実度はきわめて高く、人口も増加傾向にあり、施設需要は高まり、今後も公共施設の整備も想定されるなか、市役所も公共施設のひとつであることから、市全体の施設やサービスのあり方の一環として考えるべきとお話がありました。



その後、平成29年度に実施したFMワーキングのお話があり、まとめの中で、市役所を始めとする大きな施設は「市の顔」となるような魅力ある拠点整備が望まれるとあり、今回のワークショップでは、今後整備が予定されている施設を含めた全公共施設の中での位置付けや、「市民ができることは市民がやる」なら市役所はどうあるべきなのか。行政の枠にとらわれない柔軟な発想に期待しますという話がありました。

【市役所探検!あらためて現状の建物がどうなっているか確認しました】



財政課の水草さんから建物の現状についての説明がありました。「建物の老朽化」や「事務スペースの狭小」など困りごとの話がありました!

【グループワーク】(テーマ:何を議論することが大事なのか)

今後のワークショップのなかで、何を話し合っていきたいか話し合いました。「市役所までのアクセスがいいといいな」「コンビニやコーヒーショップがあるといいな」「議場の多目的利用」など市役所に期待する意見や、「施設の維持管理にかかるコストが少ない」などの維持管理に関する意見など様々な意見が寄せられました。

1) まずは自己紹介

みなさんの前向きな雰囲気が印象的でした



2) 市役所に対する想いを話し合いました

身近な市役所とあって各テーブル盛り上がっていました



3) 全体発表

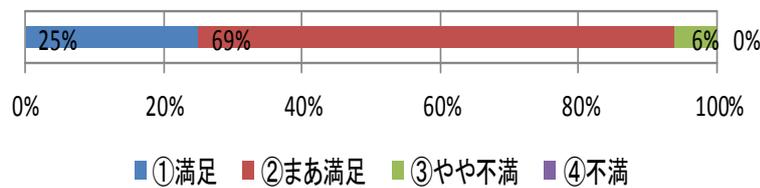
最後にグループで出した意見を全体で共有しました

- Aグループ 市民が考えることと、専門家が考えることをまず分けて考える必要がある。
- Bグループ 災害時に安心安全な建物であってほしい。建替えを前提で進めればいいが、場所はみんなが集まれる場所がいい。
- Cグループ 身近な施設になるような複合化をしてほしい。岩作城跡など歴史的なことも考えた方がいい。
- Dグループ 市役所は市民にサービスを提供する場所なので、利便性の良いところに建てた方がいい。地域の団体と連携できる施設になってほしい。

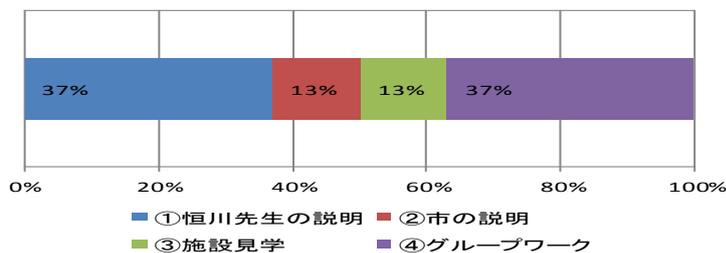


【アンケートより】

1) 本日のワークショップについて



2) 特に良かったことについて



3) その他

- ・現在の庁舎での不便さ、市民へのサービス向上など職員側からの意見も聞きたい。
- ・初参加でいろいろ勉強になった。
- ・建替えは待たなしの状況にあると思います。
- ・市役所前の道路は信号間隔も狭く、年中渋滞している。その点でも、この敷地で、建替えることのデメリットもあると思います。

【次回ワークショップの案内】

日 時:平成30年4月21日(土)

午後1時30分から午後4時30分まで

場 所:長久手市役所西庁舎3階研修室

申込方法:事前申込み不要(どなたでも参加可能です。)

内 容:ふりかえり

立地に関するグループワーク

第3回目以降のスケジュール

第3回 平成30年5月20日(日)

第4回 平成30年6月23日(土)

第5回 平成30年7月28日(土)

※すべて開催時間は午後1時30分から

午後4時30分まで

※第3回の会場は長久手交流プラザになります。

